

6 災害図上訓練

災害図上訓練（以下、「DIG」という。）は、地域の危険箇所や災害予想箇所を想定し、被害を軽減するために、個人・組織としてどのような対策を行うかを考えること。

（1）訓練内容

（ア）オリエンテーション

DIG を始める前に、訓練の特徴、効果、留意点（相手の意見をよく聞く、みんなで考える等）を説明するとともに、災害現場の写真を見て災害をイメージする。

（イ）準備

8～10名でグループを作り、グループ毎に、リーダーと記録係を決める。

（ウ）演習

①地区情報図の作成

白地図の上に透明シートを置き、次の情報を記入します。

- ・地域の構造（道路、海岸、密集市街地、公園等）
- ・地域の中で役立つ資源（消防、警察、公民館、防災倉庫、防災会の役員宅等）
- ・支援の必要な要援護者宅

②災害想定地図の作成

地震発生により震度を観測したと仮定し、次の内容を討論します。

- ・どんな被害が起きているか？（火災、ブロック倒壊、通行止等）
- ・避難経路は？
- ・要援護者の避難支援に必要なことは？

（エ）発表

各班で討論した内容をリーダーが発表し、参加者全員が「気付き」と「課題」を共有します。訓練結果は、実地訓練等の次回の実践に活かしましょう。